

定例記者会見 市長原稿
令和8年5月25日（月）
午前10時00分
全員協議会室

○冒頭挨拶

- ・ おはようございます。
- ・ それでは定例記者会見の冒頭にあたり、何点かお話しさせていただきます。
- ・ はじめに、5月4日に開院しました、小田原市立総合医療センターについてです。
- ・ 記者の皆さまには、内覧会、開院記念式典、ドクターヘリの離発着訓練等、取材いただきありがとうございました。
- ・ 開院前に行った市民向けの内覧会には、定員100人としていたところ、943人から応募があったため、急遽定員を増やし、400人弱の方々にご参加いただきました。施設の都合上、希望者全員をお招きすることができず、残念ではございましたが、市民の皆さんの関心の高さと期待の大きさが感じられ、市立総合医療センターの役割・重要性を改めて認識したところではあります。
- ・ 開院日である5月4日には、旧病院に入院されている260人弱の患者さんを送迎することで、市立総合医療センターの運営がスタートしました。7日からは、外来診療もスタートし、本格的に市立総合医療セ

ンターが稼働し始めました。

- ・ 紹介患者さんを含む初診の方が、旧病院のおよそ3倍となる300人を超える日があるなど、連日、多くの患者さんが受診されております。
- ・ 一部、受付等でお待たせする状況が生じ、ご迷惑をおかけしておりますが、窓口案内職員を増員しながら混雑緩和に取り組んでおり、施設内で混乱が生じないように、そして、市民がいつでも安心して医療を利用することができるよう引き続き対応してまいります。また、開院に伴い、最新機器の導入のみならず、ドクターヘリによる患者の受け入れが可能になったこと、新しく歯科口腔外科が開設されたこと等、医療体制の充実にも努めております。
- ・ 今後、すでに解体を始めた旧病院の跡地に、駐車施設の整備が完了する3年後のグランドオープンに向け、事業を進めてまいります。
- ・ 次に、小田原市指定ごみ袋についてです。
- ・ 昨今の中東情勢による原油・石油由来製品の供給不安により、日本国内の製造業などに影響が出ているとの報道がございます。
- ・ 本市の指定ごみ袋の供給状況につきまして、市民の方からご不安の声や、お問い合わせをいただいている状況でございます。
- ・ 本市では、ごみ袋の製造業者との契約により、例年同様の供給量が確保できており、およそ2週間ごとに各店舗に配送しております。

- ・ 一方で、多くの方が集中してお買い求めになることで、一時的に品薄となってしまう状況が出始めております。
- ・ つきましては、市民の皆さんには、通常使用される分量を目安にお求めいただくよう、今後もホームページ等を通じて周知してまいります。
- ・ 次に、本日、こゆるぎ通信を卓上配布させていただいておりますが、「小田原市耐震改修促進計画の改定について」です。
- ・ こちらは、近年の大規模地震の被害を踏まえ、「小田原市耐震改修促進計画」を改定し、6月1日から適用するものです。
- ・ 改定内容のうち、新たに追加する耐震化支援としましては、次の二点でございます。
- ・ 一点目として、昭和56年から平成12年までに建築された木造住宅で、耐震性が不足している可能性がある「新耐震グレーゾーン住宅」に対する耐震診断や耐震改修に係る費用の一部につきまして、新たに補助対象とするものです。
- ・ 二点目として、住宅金融支援機構と提携している金融機関からの融資「リ・バース60」を活用した、旧耐震基準の木造住宅における耐震改修につきましても、補助対象とするものです。
- ・ なお、住宅の耐震化率は、令和6年度末で90.7%となっており、新たな目標を「令和17年度までにおおむね解消」としております。市民の

皆さんへのさらなる周知・啓発に努め、耐震化率の向上に取り組んでまいります。

- ・ 詳しい内容につきましては、こゆるぎ通信をご確認いただけたらと思います。
- ・ 次に、こちらもこゆるぎ通信を卓上配布させていただいておりますが、今週末・5月30日（土）から6月14日（日）まで開催の「小田原城あじさい花菖蒲まつり」についてご案内申し上げます。
- ・ 小田原城本丸東堀・花菖蒲園におきまして、「小田原城花育成ボランティア」の皆さんが丹精込めて手入れをされた約10,000株の花菖蒲と、約2,500株のあじさいが見頃を迎えます。期間中、会場内にはキッチンカーの出店や飲食ブースを設置する他、土・日曜日は小田原城天守閣の開館時間を通常よりも1時間延長し、午後6時までとします。
- ・ ぜひ多くの方にお越しいただきたいと存じます。
- ・ それでは本日もよろしく申し上げます。